

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成18年度病害虫発生予察防除情報第3号

果樹カメムシ類の防除対策について

本年はチャバネアオカメムシの越冬量が多く、今後果樹園への飛来が多くなることが予測されますので、下記の点に注意して防除指導をお願いします。

記

1 発生状況

- (1) 平成18年1月下旬～2月上旬に常緑広葉樹林の落葉中におけるチャバネアオカメムシ成虫の越冬量を県内18地点で調査した結果、1.6頭/m²で、平年値0.4頭/m²に比べ多かった。過去10か年では、平成8年に次いで多く、ほぼ平成14年並の越冬量であった(図)。
- (2) フェロモントラップでは、諫早市で4月6半旬、多良見町で4月4半旬、有家町で4月5半旬に初誘殺を確認した。

2 防除対策

- (1) 越冬量と4月から8月上旬までの予察灯誘殺量は相関が高く(図)、今後、8月上旬頃までは果樹園への飛来が多いと予測されるので、この期間は特に発生に注意する。
- (2) 飛来時期や飛来量は園によって差があるので、園をなるべくこまめに見回り、早期発見、早期防除に努める。
- (3) 飛来を認めたら、早急に薬剤散布による防除を行う。
- (4) カメムシ類は夜間に果樹園での密度が高まるので防除は夕方または早朝に行う。
- (5) ハウス栽培では、開口部を防虫網(4mm目以下)で被覆する。また既に被覆済のハウスでも防虫網の破損がないか点検し、カメムシ類の侵入を防ぐようにする。
- (6) なしでは袋かけ作業が遅れないように注意する。
- (7) 今後の発生状況は予察情報や病害虫防除所ホームページ(下記参照)に掲載する予定であるので防除の参考にする。

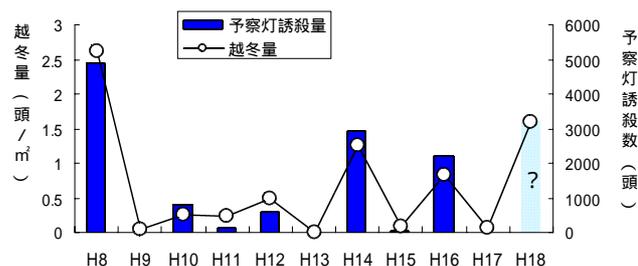


図 チャバネアオカメムシの越冬量と予察灯誘殺量(4月～8月上旬)

